

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆高齢者向けNISA創設を検討 金融庁、毎月分配型解禁へ

・金融庁は高齢者向けの少額投資非課税制度(NISA)を創設する検討に入った。2026年度の税制改正要望に盛り込む方向。運用益を分配金として毎月払い出す「毎月分配型」の投資信託を高齢者に限定して対象に加える案が浮上している。プラチナNISAと銘打ち、高齢者が運用資産を計画的に活用できるようにする。

◆米景気に減速サイン 景況感約3年ぶり低さ、消費も鈍化

・トランプ米政権による関税政策への懸念から米景気の減速を示すデータが相次いでいる。消費者や企業の景況感は急速に悪化しているほか、個人消費支出など経済の実体を示す統計にも鈍化傾向が表れ始めた。物価上昇と景気後退が同時に進むスタグフレーションも現実味を帯びている。

◆3月後半の消費、4.1%増 値上げ控え酒屋やコンビニ増加

・ナウキャストとJCBはクレジットカード決済額に基づく3月後半の消費データを発表。名目で前年同期比4.1%増えた。コンビニや酒屋など飲食料品小売業の消費が好調だった。アルコール大手各社による4月からの値上げ前に駆け込み需要が起きたとみられる。「飲食料品小売業」は3月前半から0.3ポイント増加し、前年同期比では6.2%のプラスだった。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆リンナイ、浴室乾燥機37万台を無償修理 発火の恐れ

・給湯機器大手リンナイは2003年8月～20年8月に製造した浴室暖房乾燥機3機種、計37万2398台に発火の恐れがあるとして、無償で点検・修理すると発表。経済産業省にリコール(回収・無償修理)を届け出た。使用の中止も呼びかけている。製造から10年以上経過し、経年劣化した製品で発火がまれに起こるという。

◆日本イトミック、サブスク型給湯サービス会社と連携

・電気給湯機器製造販売の日本イトミックは、サブスクリプション型給湯サービスを提供するホットウォーターアズアサービスに出資し事業協力を開始。故障や不具合に煩わされない、高効率な給湯機器による快適な給湯環境を定額料金で提供するもの。AIでヒートポンプ給湯機運転を最適化し、給湯システムの最適化やエネルギーコストの削減も可能。

◆モノタロウの当日出荷、42都府県で「午後5時まで対応」

・製造・工事関連資材のネット通販大手、MonotaRO(モノタロウ)は午後5時までに注文を受けた商品を当日出荷する地域を42都府県に広げたと発表。自社の物流倉庫で管理する約60万点が対象で、翌日には顧客に届くようにする。当日出荷の締め切りは大半の地域で午後3時だったが、2時間延長する。北海道、沖縄県など一部地域は除く。

《 注目商品 》

■ノーリツ、2口タイプ「Nest(ネスト)」「Fami(ファミ)」

・少人数世帯など暮らしの多様なニーズに対応するため、中級価格帯のガスビルトインコンロ「Nest」の2口タイプを新たにラインナップ。また、普及価格帯の「Fami」の2口タイプもリニューアル。天板に「つやめきガラストップ」を採用。



■LIXIL、家事を楽にする洗面新製品「ランドリープラス」

・洗濯を「洗い」と「片付け」の2工程に分け、工程間の移動を少なくし、洗濯家事の効率を上げるランドリー空間。カウンター、洗面器セット、ランドリーバー、吊り棚などを組み合わせてランドリーを構成。カラーはカウンターが11色、洗面ボウルは3サイズ3色。



■エービーシー商会、洗面カウンター「セラフィス」

・「サイルストーン」を用いた洗面カウンター「クォーツカウンター」シリーズに新型を追加。同シリーズは天然石の美しさと優れた耐汚染性・耐久性が特徴で、排水金具を隠す排水プレート为标准で装備。新型は、ボウル部のアシンメトリーなデザインが特徴。

